

あさくち 市議会 だより

平成25年6月定例会

No. 18

平成25年8月1日発行

【主な目次】

- ・ 議員定数を削減…………… P 2
- ・ 6月定例会の議案…………… P 4
- ・ 委員会審査…………… P 6
- ・ 各議員の賛否…………… P 8
- ・ 一般質問「市政を問う」…………… P 9



不動の滝(浅口市教育委員会提供)

平成25年6月定例会では、補正予算1件、条例2件、人事案件1件、専決処分6件、その他1件などを慎重に審議し、すべて可決しました。

また、次回選挙から議員定数を16人にする議案と18人とする議案の2件が議員から提出され、16人とする議案は否決とし、18人とする議案を賛成多数で可決しました。

議員定数条例の一部改正 (16人)

【否 決】

提出者 大西洋平議員

賛成者 中西美治議員、大西恒夫議員

【提案理由】

平成23年3月に議員定数削減に関する決議を可決し、議員全員が参加する議会改革特別委員会の中で協議を続けてきましたが、いまだ結論は出ていません。次回選挙まで1年をきっており、これ以上結論を先延ばしにはできません。

昨年9月には、市民アンケート調査を実施し、議員定数が多いと回答した市民が約6割で、適正な議員定数は15人が最も多い。市民参加型の議会となるために市民の意見を真摯に受け止めなければなりません。

議員報酬も減額すべきとの意見もありますが、4名減では2400万円以上の予算減額が見込まれ、議員一人当たりの人口、面積割りの値も大きくなり、減額する必要はありません。浅口市は、岡山県下において最もコンパクトな市であり、16人でも一層の努力により効率的な議会運営ができます。

反対討論

●桑野和夫議員

市民の暮らしを守るため、20人が必要です。

議員には市民から切実な生活相談が寄せられています。議員一人一人がそれぞれの地域で市民の命と生活を守るため、懸命に活動することが必要です。議員・議会に対する不満や不信を払しょくし、日々研鑽し、市民の負託に応える議会となり、

市民に理解していただかなければなりません。

また、議員定数問題は地方自治における民主主義の基本問題であり、定数減少により、議員の役割が縮小されることがあつてはなりません。

併協議会では議員だけでなく、有識者が参加して、議員定数を合併時に24人、平成22年から20人にしようと決定しました。国会議員などは減らしていません。

議員がきちんと対応し、民意を反映し、市民のために本心に働き、若い人が出て堂々と戦い、物が言える議会にしたいので、18人としてほしい。

●香取良勝議員

16人に議員定数を減らすことで、若い人が議員になれません。合

賛成討論

●中西美治議員

県下で最もコンパクトな浅口市は、議員定数が16人となつても、議員一人ひとりの努力により効率的な議会運営が可能です。

現状より一気に4減ということは抵抗感もあるのは承知していますが、市民に開かれた

議会、市民参加型の議会を追及している今日、市民の多くの意思を重く受け止めることは議員の責務です。

●大西恒夫議員

合併後8年目に入り、2期目は議会改革を進め、より良い議会、市民に開かれた議会にし

ていこうとしてきました。アンケートは貴重な市民の意見です。議会は市民の意見を大切にしなければなりません。報告会で市民に説明できるよう、16人に賛成していただきたい。

議員定数2削減

次回選挙から 議員定数18人

議員定数条例の一部改正 (18人)

【原案可決】

提出者 原 彰議員

賛成者 伊澤 誠議員 香取良勝議員

【提案理由】

議員定数についての市民アンケート結果は15人が最も多数で、市民が示したこの数字は尊重するべきと考えます。民意を酌み取り、議会に反映させることは議会の重要な使命です。しかし、議員自らも定数については真剣に考え、取り扱うべき問題です。

旧3町の議員総数42人を合併直後の浅口市議選では24人とし、さらに4年後の平成22年の選挙では20人にまで削減しており、それからたった3年余りです。行財政改革には十分寄与していると考えます。合併協議会の示した協議合意内容は十分尊重されなければなりません。民意も尊重し、かつ合併協議会合意も尊重する意思で18人を提案しました。

反対討論

●道廣裕子議員

議員定数の削減は、憲法に定められた議会の存在意義と役割を後退させます。議員定数という民主主義の問題と行財政問題をリンクして論じることにはふさわしくありません。市民の議員定数削減を求める声は、議会の活動

が見えないことや、一部政治家の不正などに対する市民の怒りがあることも事実です。市政のチェックや住民要望を実現させるなど議会は自らを慎み、ふさわしい役割を果たすべきです。

賛成討論

●伊澤誠議員

地方分権が進み、自治体の仕事や権限が増え、議会の役割が増える中、議員定数を減らすことは議会機能の低下につながります。議会を通して多様な民意を反映し、様々な立場の人が議論を重ねていくべきです。しかしながらアンケート調査結

果を重く受け止める必要があります。18人の回答は2番目に多く、現在の3つの常任委員会が6人ずつとなり、民意を反映した十分闊達な委員会運営が行われる最少人数ですので、18人に賛成します。

●香取良勝議員

アンケート調査もあ

る程度は尊重しなければなりません。18人だと3つの常任委員会も6人ずつとなりますので、賛成します。国会議員は減らしていないが、他市議会は減らしています。岡山市は政令都市になったが、県議会議員は減らしていません。浅口市はそう



6月定例会の議案

一般会計補正予算 総額6,844万円を可決

補正後総額129億744万円（対前年比+0.7%）

歳出の主なもの

事業名	内 容	金 額
市役所本庁舎耐震補強事業	設計委託料の追加補正	870 万円
地域自殺対策緊急強化事業	自殺予防の講演会及び自殺の危険を察知し、適切な対応を図るゲートキーパー養成講座の実施	14 万円
学力向上 No.1 プロジェクト事業	小中学校の授業にタブレット型パソコンを導入するため、準備段階とし、タブレット型パソコン33台を購入	382 万円
浅口の民話紙芝居作成事業	故郷への関心と郷土愛を育むため、市内の民話を題材に紙芝居を作成し、図書館で上演するもの	46 万円
金光公民館整備事業	屋内消火栓ポンプ用非常用発電機の更新	758 万円
学校給食センター整備事業	学校給食センターを統一整備するため、測量及び設計委託料を追加するもの	4582 万円

質 疑

問 大西恒夫議員

本庁舎耐震補強事業について、追加補正が必要となった理由は、耐震以外にも修繕箇所がありますか。工事の総事業費はいくらですか。

答 本庁舎は新館と旧館があり、そのつなぎ目に相当の補強が必要です。また外壁タイルも古くなっており、精査した結果、追加が必要となりました。工事費の詳細は設計後となりますが、概算で約2億円を見込んでいます。

問 岡邊正継議員

学校給食センター建設のような重要な案件については、委員会だけでなく、予算を決定する議員全員に事前に報告していただきたい。総額はいくらを予定していますか。

答 議会には担当の総務文教常任委員会で説明しています。総事業費は概算で10億から15億円としていますが、実施設計で確定していきたい。

議員発議

● 議会会議規則の一部改正

【原案可決】

議会基本条例の施行により、一般質問に一問一答方式を導入することに伴い、質問回数制限を撤廃するもの。

条 例

● 一般職職員の給与の臨時特例に関する条例の制定

【原案可決】

国家公務員の給与減額に伴う国の要請により、職員の給与を7月から3月までの9ヶ月間、部長級8.5%、主任から課長級6.5%、主事級3.5%をそれぞれ減額するもの。

質 疑

問 岡邊正継議員

ラスパイレス指数はいくらですか。100以下にするつもりはないですか。

答 平成25年4月のラスパイレス指数は本来98・4ですが、国家公務員が給与を引き下げたため、106・5となったものを国の要請により100に合わせるといいます。

反対討論

● 香取良勝議員

総社市や瀬戸内市など削減していない自治体もあります。安倍総理は民間に給料を上げるよう要請していますが、公務員は下げるよう要請するのは通じません。職員も生活が困窮しています。給料を下げる前に減らすべきところがたくさんあります。職員数を減らしたり、庁舎清掃などを職員が行うなど工夫している町村もあります。

● 桑野和夫議員

職員の給与削減を前提とした国の地方交付税削

減は地方自治への介入です。防災、介護、教育などあらゆる分野で住民生活を支え、被災地で懸命に働く地方公務員の生計費を乱暴に削ることであり、政府の掲げるデフレ脱却にも反します。地方公務員の賃下げは、民間労働者賃金や年金額の引き下げにもつながります。国の不当なやり方に屈せず、賃金を下げない決断をしてほしい。

●道路占用料徴収条例の一部改正 **【原案可決】**

道路法施行令の一部改正により、道路占用料の徴収対象物件に太陽光発電設備、風力発電設備等を新たに加えるもの。

契 約

●工事請負契約の締結

【原案可決】

鴨方中学校の校舎耐震改修等2期工事の契約について、3億1862万円で契約を締結するもの。

質 疑

問 香取良勝議員

予定価格と落札率はいくらで、何社で入札したのですか。手抜き工事にならないように設計監理委託業者は工事中に検査をしていますか。

答 6社の共同企業体が入札しました。設計額は3億3996万8千円（税抜き）で落札率は89・26%でした。設計業者は施工監理をしていくため、現場に行きます。

人事案件

●人権擁護委員の推薦

【適任】

議会の意見として、守屋加代子氏を人権擁護委員として引き続き適任としました。任期は平成25年10月から3年間。

専決処分

●税条例の一部改正

【承認】

地方税法の改正に伴い、延滞金の割合の見直しや住宅ローン控除の延長等を行うもの。

●国民健康保険税条例の一部改正

【承認】

地方税法の改正に伴い、国民健康保険税の延滞金規定の改正及び国民健康保険被保険者が、国民健康保険から後期高齢者医療保険に移行する場合の国民健康保険税の軽減期間を延長するもの。

●過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正 **【承認】**

過疎地域自立促進特別措置法第31条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正により、適用期限の延長等を行うもの。

●和解及び損害賠償額の決定（3件） **【承認】**

3件の公用車の事故について、損害賠償額を決定し相手方と和解するもの。

質 疑

問 竹本浩司議員

専決処分が多い。専決処分をした理由は何ですか。臨時会を招集すればよいのでは。専決処分をする場合、事前に議会に相談しましたか。

答 和解及び損害賠償額については相手側への支払い義務があり、急がせていただきました。議長への説明が遅れ失礼しました。今後は気を付けます。

報 告

●一般会計予算繰越明許費繰越計算書

繰越総額 13億6260万6千円

●一般会計予算事故繰越し繰越計算書

繰越総額 1588万2千円

●公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

繰越総額 2億8480万円

●工業団地開発事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

繰越総額 1204万1千円

●水道事業会計予算繰越計算書

繰越総額 3074万8千円

●長期継続契約の締結状況

財政課高速カラー印刷機、寄島総合支所産業建設課地籍支援システム及び寄島西保育園モノクロデジタル複合機のリース契約の合計3件。

総務文教常任委員会

● 5月8日

鴨方中学校耐震補強事業と寄島中学校グラウンド整備事業を視察しました。

○市内統一の学校給食センターを建設

学校給食施設整備検討委員会の答



鴨方中学校耐震補強事業

申を受け、市内で統一した学校給食センターを建設する方針が示されました。建設場所についてはなるべく経費のかからない市有地を選定すべきとの答申と建設面積を考慮し、鴨方町地頭上地内を選定し、地元協議を行うことが報告されました。

● 6月13日、6月20日

一般職職員の給与の臨時特例に関する条例、一般会計補正予算、工事請負契約の締結を審査し、全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。

一般会計補正予算

問 学力向上No.1プロジェクト事業費（382万円）のタブレット型パソコン購入について、県下

の他の自治体で実績はありますか。また、学力向上につながる結果は出ていますか。

答 今のところ、県下で本格的に導入しているところはありません。結果は出ていませんが、学力向上のためのいろいろな施策の一つとして取り組みたいです。

一般職職員の給与の臨時特例に関する条例

問 県内他市の状況はどうですか。職員組合とは協議を行ったのですか。

答 総社市、瀬戸内市など削減していない市もあります。近隣は笠岡市をはじめ、里庄町、矢掛町なども削減する方針と聞いています。職員組合とは、市長出席のもと、数回にわたり協議を行い、最終的には妥結しています。

民生常任委員会

● 5月9日

三和保育園、敬親保育園を視察し、運営状況などの説明を受けました。



保育園を視察

● 6月14日

一般会計補正予算を審査し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、請願・陳情3件は継続審査としました。

産業建設常任委員会

● 5月7日

次の工事予定地と寄島浄化センターの長寿命化事業を視察しました。

- ・ 依池改良工事（鴨方町深田）
- ・ 農道京田渡線改良工事（鴨方町深田）
- ・ 市道道木門石線バイパス改良工事（金光町占見新田）



工事予定地を視察

● 6月17日

道路占用料徴収条例の一部改正、一般会計補正予算を審査し、全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。

鴨方駅周辺整備調査特別委員会

4月15日

○鴨方駅南広場の整備状況を調査

今年度は自由通路の南側から国道2号をまたぐ横断歩道橋の橋げたや階段等を現地で組み立てる工事を行うとの報告を受けました。



製作済みの橋げた

問 横断歩道橋の通行の安全性や工期はどうなっていますか。

答 安全性を考慮し、手すりの外側にアクリル板を設置します。工期の終わりは秋口になる見込みです。

○洪水調整池裁判、一審判決は棄却

3月26日に鴨方駅南洪水調整池の裁判の一審判決が出され、原告である市と、被告の請求のいずれもが棄却され、4月5日付で控訴しているとの報告を受けました。

上下水道整備調査特別委員会

3月26日

○水利権譲渡に関する事務レベルの協議終了

上水道の受水先統一について、笠岡市との水利権譲渡に関する事務レベルでの協議はほぼ終了。配水管工事約6.7kmは費用が多額になるため、西南水道企業団に経費の一部負担を申し入れているが、結論が出ていないとの報告を受けました。

意見 金光へ送水することで、西南水道企業団にもメリットがあります。経費負担については企業団と十分な協議をし、合併特例債をうまく活用するなど、市の負担をなるべく軽減するよう尽力して欲しい。

○下水道事業の計画変更

全体計画の見

直しについては、市民に対して縦覧を行ったが意見はなく、公聴会は開催しなかったとの報告を受けました。都市計画審議会での審議後、計



下水処理施設

画書は岡山県へ提出されます。

議会改革特別委員会

4月23日、5月23日、6月4日、6月10日

○出席状況の公表

本会議、委員会への議員の出席状況の公表方法を次のとおり決定しました。

・掲載は1年分を併せて、議会日より、議会ホームページに掲載します。(毎年1月ごろ、議会日よりは2月1日発行分に掲載)

・本会議、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、議会報告会を対象とします。

○議案審議における資料請求

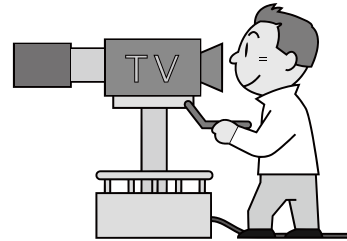
議案審議の際の情報不足を解消するため、執行部に対し、必要な資料請求を行う場合の方法を決定しました。

○全員協議会は非公開

議員の意見調整を行う全員協議会を公開することについては、執行部から報告を受ける場でもあり、現行のとおりの非公開とすべきとの意見と、他の市の状況や議会改革推進という考え方から公開すべきとの意見に分かれました。採決を行い、非公開とすることに決定しました。

○委員会のテレビ撮影

今まで撮影を認めていなかった、委員会審査のテレビ撮影については、原則許可することとした。なお、参考人を招致する場合など審査内容の状況により適当でない時、委員長は委員会に諮って不許可とすることができま



○議員定数の削減

議員定数を削減することについて協議をしました。市民の様々な民意を市政に反映させるため、定数は削減すべきではないとの意見や、アンケート調査結果を尊重し、定数を削減するべきなど、意見が出されました。

すでに次回改選まで1年を切っており、6月定例会中に結論を出すこととし、採決の結果、議員定数は削減することと決定しましたが、具体的な削減数については意見が分かれ、本会議で議員発議により結論を出すこととなりました。

各議員の賛否

6月定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次の通りです。

「○」賛成、「×」賛成でない、「－」不参加、「欠」欠席

会派名	浅政会									清風会			日本共産党 浅口市議団		無会派						議決結果
議員名	柚木毅 (議長)	大西洋平	高橋範昌	田口桂一郎	中西美治	原彰	平田襄二	竹本浩司	伊澤誠	井上邦男	畑中知時	加藤淳二	道廣裕子	桑野和夫	香取良勝	大西恒夫	青木光朗	藤澤健	岡邊正継	佐藤正人	
議案名																					
浅口市議会会議規則の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
浅口市議会議員定数条例の一部改正(定数16人)		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	否決
浅口市議会議員定数条例の一部改正(定数18人)		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	原案可決
専決処分した事件の承認 (浅口市税条例の一部改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分した事件の承認 (浅口市国民健康保険税条例の一部改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分した事件の承認 (浅口市過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
浅口市道路占用料徴収条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
浅口市一般会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
浅口市一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	原案可決
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任

*議長は採決に加わりません。

一般質問

市政を問う！

6月定例会では、6名の議員が一般質問を行いました。
なお、一般質問の記事は質問した議員が作成した原稿に基づき掲載しています。

一般質問とは

議員が市の行政全般にわたり、執行機関（市長等）に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信や疑問をただし、報告、説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

議員個人が行うものを個人質問、会派所属議員が会派を代表して質問することを代表質問と呼んでいます。代表質問は3月定例会、9月定例会で行われます。

一問一答方式を導入

浅口市議会では、議論の活性化と市民の皆さんに分かりやすい議会運営とするために、6月定例会より一問一答方式を導入しました。

これまでの一括質問一括答弁方式では、数項目を一括して質問し、一括で答弁を聞くため、答弁が前後したり、それぞれの案件に対する焦点が不明瞭なまま終わることもありました。

一問一答方式は、質問項目をひとつずつ取り上げ、納得いくまで質問、答弁を繰り返す方法です。これにより、質問に対する答弁内容や議員と執行部のやり取りが非常にわかりやすくなり、議論を十分深めることが可能となりました。

6月定例会から

○一問一答方式

- ・一項目ごとに質問・答弁を行う。
- ・質問回数は無制限。
- ・持ち時間は個人質問は60分。代表質問は会派所属議員数に応じて決定。（45分+5分×所属議員数）
- ・執行部から議員に対して逆質問することができる。（反問権の行使）

これまで

○一括質問一括答弁

- ・すべての項目について、一括で質問し、一括で答弁する。
- ・質問回数は3回まで。
- ・持ち時間は個人質問、代表質問ともに60分。
- ・執行部から議員に対して逆質問できない。





香取 良勝議員

金光町の調整区域を市街化区域に直ちにせよ！

問

浅口市が合併して7年経った。公約の一つとして市街化区域を約束したが、金光町は同じ浅口市であって、未だ調整区域で発展が無く、家を建てるな、米は作るな、草刈はシルバーに頼め、土地貧乏とまで、金光町では合言葉になっている。早急に市街化区域にして頂きたい。合併時の公約を守る事が行政である。金光町民も浅口市民である事を忘れず、実行して頂きたい。

答 田村副市長

3年程度前に県にお願いに行きました。それが正式なスタートと思っています。事務的には県とも里庄ともいろいろ協議を行っている状況であります。第1段階、県南広域から抜けて、鴨方都市計画区域に入り、最終的には国の同意を頂く、これが最終段階と考えます。

問

ランドセルを無料配布せよ！

6年間使用できる黄色いランドセルを金光では無料配布している。何故鴨方、寄島町には配布しないのか？（寄島、鴨方には4200円の金券を市が出し、ランドセルは個人が買う）2～5万円のランドセル代が鴨方、寄島の親の負担で子どもが小学生に上がる時に多額の金がある時期だけに、少しでも親の負担を少なくするのが市の行政ではないのか。行政改革と言いながら、子どもの親に負担をかけるのか。金持ち、貧困者も同じようにして頂きたい。子どもに罪はない。子どもに貧富の差を教えるな。黄色いランドセルで通学すれば、公平、平等であり、不審者も近寄らない。それでも最初から鴨方、寄島はランドセルを無料配布はしないという事ですか。

答 栗山市長

無料配布しないと言えば、そのように取って頂いて結構です。地域の方、PTA、アンケーターなど総合的に判断した結果です。人間は意見がいろいろあります。教育を語る会で聞いた意見も一つ、議員から聞いたのも一つの意見です。

市営墓地建設について

問

市営墓地を市として真剣に考え、前向きに実行に向け栗山市長、市職員が一丸となって市民

答 田村副市長

の為に頑張っていると思うが、前市長が20年経っても出来なかった事を3年でめどを付けた栗山市長に敬意を表したい。市民の反対も多かったと思うが何処まで進んでいるのかお答え頂きたい。

本年度予算に概略設計の費用600万円を計上しております。墓地の区画数を出す為、概略を今年度中に出していく状況です。430基の希望者がいるといったあたりを計画しています。

洋式トイレに変更せよ！

問

6ヶ月前に質問をして、1基だけのウォシュレットをしただけでは納得がいけない。利用頻度の高いフロアーから優先にするといっても6ヶ月に1基だけでは納得いかない。一番大事なのは食事とトイレです。重要な所をするのが行政だ。予算が出来てからでなく、痔の悪い市民、職員が大変困っている事を忘れないで頂きたい。早急をお願いします。

答 栗山市長

高齢者の方々を始め、足腰の弱い方々の配慮から洋式トイレは時代の流れでございます。利用度の高い所から洋式トイレに切り替えていこうと思います。



佐藤 正人議員

浅口市のPRは！ 「瀬戸内ブランド推進連合」発足を機に

問

今年の4月に瀬戸内沿岸7県（岡山・広島・香川・兵庫・徳島・愛媛・山口）による「瀬戸内ブランド推進連合」が発足しました。本市の観光や特産品のPRについて伺います。また、本市のゆるキャラ（マスコット）を作成してはいかがでしょうか。

答 栗山市長

この推進連合の設立については瀬戸内の人口交流を増やし豊かな地域社会の実現に向け立ち上がったことは、大変に心強く思っています。浅口市としてもさまざまな事業を活用して強くPRしていきます。また、ゆるキャラについても広く市民の皆様の意見を伺いながら検討していきます。

ため池や水路における私有地の崩落に対して補助金制度を！

問

近年、ため池の老朽化が問題視されています。原因の1つには私有地が面しているため崩落などの修繕が出来ない現状が多く見受けられます。防災対策の観点からも非常に危険度が大きいと考えます。市の施策として補助金を出して修繕する制度を考えてはどうか。

答 松田産業建設部長

民有地の護岸修理に対して直接的な補助金制度の導入ではありませんが、新しい方法として池の浚渫（しんせつ）した土を利用して護岸の前を埋め立てる方法を今年から採用し、効率的に改修していききたいと考えています。

答 栗山市長

今年新たに採用した工事の方法の成果も見極めながら補助金制度を検討していききたいと考えます。

浅口ふれあい号の市民の利便性の更なる向上を！

問

浅口ふれあい号運行事業も3年目を迎えています。乗車率も年々向上しており、市民の足として定着しつつあります。毎年の運行ルートの改善など執行部の努力も大いに評価しま

すが、まだまだ市民の皆様の中にはルートや時間帯の改善要望も多くあります。特に、通院や買い物などに利用される高齢者の方々からの要望があり、事例としては鴨方第一胃腸科外科付近を経由してほしいという声もあります。今後の運行ルートの改善、見直し計画についての考えはどうか。

答 栗山市長

浅口ふれあい号の運行については、当初から市民の皆様のアンケートや地区の要望をもとにいろいろと検討を重ねてきました。あらゆる利便性を多くの皆様に提供する必要がありますとの考えからやはり最大公約数的にならざるを得ない面もあります。今後も地域の要望であれば継続して見直しを行っていききたいと考えています。



ふれあい号の利便性向上を



桑野 和夫議員

地域防災計画の

見直し時期はいつか

問 国がマグニチュード9クラスの南海トラフ巨大地震対策の最終報告を発表しました。浅口市としてもしっかりと災害対策を行い、地域防災計画を見直していく必要があります。この間の災害対策の実施内容と今後の計画、また地域防災計画の見直し時期と内容の方向性についてお聞きます。

答 秋田企画財政部長

大震災後の取り組みとしては、防災講演会の実施、洪水土砂災害ハザードマップの改定、自主防災組織の設立への支援、緊急告知FMラジオの公共施設などへの配布、海拔表示板の設置などを行いました。今後の計画としては、被害発生時の職員の初動マニュアルの整備、自主防

災組織の設立の推進などに取り組んでいきます。

地域防災計画は、国や県の上位計画との整合性も踏まえ、今年度中のできるだけ早い時期に見直します。方向性は、地域の自主防災組織等との連携、災害時での女性の視点も取り入れながら、当市の実情に合った実効性のあるものになります。

答 栗山市長

地域防災計画が完成後、平成26年度中に新しいデータを取り入れハザードマップも作成し、全戸に配布します。何よりも重視すべきことは命を守ること、住民が即座に安全な場所に避難できるよう、あらゆる手段を講じることです。ですので最大限の対策に取り組んでいきます。

「読書の街」としてアピールを

問 浅口市はコンパクトな街にもかかわらず、公立図書館3館と金光図書館があり、人口当たりの蔵書数は全国一で読書をする上で素晴らしい環境です。「読書の街」としてアピールしてはどうですか。また、4館の連携、インターネット予約貸し出しの実施、策定した「浅口市子ども読書活動推進計画」に沿った図書館運営をしてほしい。



金光さつき図書館

答 櫛田教育次長

今後も利便性を生かして蔵書も整備し、図書館を親しみのあるものにして、魅力あるまちづくりを目指します。4館の連携はイベントの開催時などでの人的な協力体制を行い、インターネット予約貸し出しは避けては通れないので十分検討します。

推進計画は実効性のあるものにするために取り組んでいきます。

水道、消防の一元化は 市民の利益を優先して決定を

問 水道、消防の市内一元化の方向性はどうなっていますか。方向性は市民に情報提供し、市民の利益を優先して決定してほしい。

答 垣内上下水道部長

受水先の統一を図るため、笠岡市、西南水道企業団と協議中です。

答 秋田企画財政部長

消防の一元化は課題であると認識しており、引き続き研究していきます。

答 栗山市長

市の将来にかかわる重要な案件は、市民の生活環境、福祉の向上を最優先に考慮し、議会とも十分相談しながら進めていきます。



大西 恒夫議員

ピンチはチャンス

問

市長さんがよく言われます「ピンチはチャンス」だと、地域へ行ってもよく話をされております。市政の中でどのようなことを考えておるのか具体的に尋ねます。議員としても協力をしてまいります。

答

栗山市長

具体的にと言われましたけれども、今まで私が行ってきました新しい事業の一つ一つが、ピンチはチャンスという気持ちで取り組んできたものであります。

チャンスはチャンス

問

「チャンスはチャンス」と言う言葉、市政にとってもあると思いますがお聞かせください。

答

松田産業建設部長

3月議会でソーラー発電のことを今がチャンスではないかと質問しました。市民や他地区の方々も事業に参入しております。また、農地無断転用があります。この問題を今後どのように取り扱われますかお聞きします。市有地で全然使われてない土地が沢山あります。2〜3メガの発電が可能な土地もあります。ソーラー発電は今がチャンスと捉えて市役所内に相談の窓口をもうける気はありませんか。

答

秋田企画財政部長

太陽光発電に合うような平地で設備の設置に適した土地はありませんが、これから研究していきます。

答

栗山市長

今特別に窓口をつくることは考えておりません。

トップセールス

問

企業誘致はトップセールスでやるとのことですがどのような理念のもとに、どのような企業に目標を置いていますか。また市内には工業用水や農業用水路が通っております。その水の活用を、寄島には農業用水は年間400万トンの枠があります。実際に使用しておるのは、畑地かんがい6万トンだけで

す。提案ですが寄島干拓地にその水を利用した農業工場の誘致を考えてはどうでしょうか。

答

栗山市長

雇用拡大、定住促進、安定的な税収の確保を目標に企業誘致しております。

答

松田産業建設部長

工業用水を必要としている企業にはプラス材料になります。農業用水を工業用水に転用するのは非常に難しいですが、農業用水を農業に使う、工場の中で農作物をつくるのは可能性のある発想だと思います。水利権は市ではないので県の企業局等との調整もあると思います。

職員の日報

問

民間で働いていた時は、日報と翌日の予定を出さなければ帰宅できませんでした。予定を立てておくことは、次の日の心の準備もできるし能率が上がります。記録に残しておくことは後日助かることがたくさんありました。職員に日報を書くことを指示してはどうでしょうか。

答

栗山市長

職員全体に日報を書くことを指示しておりませんが提言の趣旨を踏まえてこれまで以上に職員の意識の向上や業務の改善を図って参ります。



井上 邦男議員

レストラン賃貸契約

条件見直しを

問

浅口市健康福祉センター内のレストランが5月下旬に閉店しました。このレストランは健康福祉センターの一部として大勢の方の利用があり、天草公園を利用する皆様の憩いの場となっていました。レストランの賃貸に関する条件はどうなっていますか。閉店の理由は何か、また今後賃貸料の軽減など検討してはどうですか。

答

襟立健康福祉部長

賃貸の条件は、使用料は月額2万円（以前は6万円）、それ以外に電気、ガス、上下水道等が経営者の負担となっています。契約期間は3年間で、双方異議のない場合は自動更新します。そして連帯保証人2名と保証金20万円をお願いします。閉店の理由は、大きくは地理的な

もので、幹線道から中に入っており、駐車場がお店の前にならないことなどの立地条件の問題がありました。またお客様の要望やお年寄りの利用も多く、安価な商品を希望していて、軽食喫茶中心の運営では難しかったということ等がありました。今後は今回募集をかけており、事業者の方のお話を聞く中で引き続き2万円でお願ひしています。

国道2号バイパス関連工事

進捗状況は

問

国道2号バイパス工事とそれに伴う主要幹線道路の整備事業の進捗状況はどうなっていますか。

答

松田産業建設部長

国道2号バイパスの1期工事は玉島阿賀崎から金光佐方地区までのことで、延長が4.5kmで平成27年3月までに完成予定です。2期工事は金光佐方から笠岡市西大島新田までの区間で、延長が9.4kmで平成31年3月までに完成予定です。次に主要幹線道路の整備計画ですが、1期区間の側道、南浦金光線を現在工事しています。そしてアクセス道路で県道東安倉鴨方線は国道2号バイパスから現国道2号までのルートです。これらは県事業で、平成27年3月までを目標に整備が進められています。2期区間については、鴨方と里庄にハーフインター（上り下りが全部できるのではなく半分ずつのインターチェンジ

のこと）を結ぶアクセス道や、近くの大きな道に接続する道路が要ります。現在岡山県と里庄町、浅口市で協議を行っています。

学力向上に向けた取り組みは

問

市長は今回の政務報告の中で知・徳・体のバランスを保ちながら学力全体を向上させていく「学力向上No.1プロジェクト」を今年度の最重要施策として様々な取り組みを行っていくとのことですが、具体的な取り組みをお聞かせください。

答

栗山市長

未来を担う人材への投資こそが夢や希望にあふれる子育て王国浅口を創造すると確信し、さまざまな施策を行ってきました。各校に生活支援員を配置するなど一人ひとりの子どもにより細かい対応ができるよう、また校務支援ソフトを本年度から市内の全小学校に導入しました。学力向上No.1プロジェクトでは、夏休み期間中の学習時間をふやすため、市内学校にエアコンを新たに15台設置します。昨年度はICT環境整備のため、マグネツトスクリーン、プロジェクト、書画カメラを小中学校の全クラスに配置しました。また新しい教育効果を上げられるタブレット端末を学習現場で活用していきます。今後とも知・徳・体のバランスのとれた子どもたちの学力向上に向け、教育を浅口市の最重要施策として取り組んでいきたい。



道廣 裕子議員

寄島中学校南の 石積塀の改良を！

問 この塀は、土手の内側の土盛が流されたため石積が校庭側に傾いています。梅雨時でもあり、台風や地震での危険は増すと思うので早急な改良をしていただきたい。

答 應本寄島総合支所長

この石積は海岸堤防として築造され、年数も相当経過しています。南側は、保育園、幼稚園、児童・生徒の通学路で主要幹線道路です。巨大地震も想定されている中、通行する皆さんの安全、安心のため早急に改良します。内側の土砂の除去は来年3月末までにグラウンドの造成と一体的に工事をします。また、道路側に高さ15メートルの防球ネットを設置

答 城山教育長
する計画です。

学校には工事
中の安全指導の
お願いをする予
定です。



寄島中学校南の石積塀

教育委員会のあり方を問う 市のプロジェクトは議会で議論を！

問 14億から15億円の給食センターの検討について、議会は学校給食施設整備検討委員会の設置を了承したが、議会への結果報告はなく、第3回検討委員会の答申を総務文教委員会にのみ報告したのです。

本来なら議員全員に答申書を出し、検討してもらったのが筋ではないでしょうか。それも検討委員会の内容を新聞報道で知るありさまです。

議会での議論ぬきで、数人の総務文教委員会・・・という考えでの進め方です。今後の対応について教育長の考えを問います。

答 城山教育長

重要な答申等は早急に議会へ報告するということですが、私もそう思って事案ごとに報告しているつもりですが、今後とも留意したいと思っています。

問 地産地消については食材をどう調達するのですか。

答 城山教育長

なかなか難しいが、関係者で最大限知恵を出して努力するようにします。

特別養護老人ホームの建設を！

問 本市では75才以上のお年寄が、22年国勢調査で30%を超えています。しかも80才をこえた老老介護が増えているのが現状です。

そこで施設入所は老人保健施設で月最低6万円から10万円は必要です。年金では入れません。特養が必要になります。

答 栗山市長

私自身も施設は足りないと正直感じています。第5期福祉計画にはないが今期も含めて小規模多機能、老健、特養など、どれがよいのか、全体の福祉計画をしっかりと考えて立てていきたいと思っています。

長年の功績により叙勲を受章

高齢者叙勲

山本 一三氏に

旭日単光章



元鴨方町議会議員山本一三氏が旭日単光章を受章されました。山本氏は平成3年から4期15年間、鴨方町議会議員として在職、副議長にも4年間就任され、地方自治の発展にご尽力されました。長年の功績に敬意を表しますとともにお祝い申し上げます。

傍聴へ
お越しく下さい！

傍聴は議会活動に触れる最も身近な方法です。

一般質問も一問一答方式を導入するなど、皆様に分かりやすい議会運営に取り組んでいます。

議員の活動や市政の方針など、ぜひ直接ご覧下さい。

傍聴を希望される方は、会議当日の受付で傍聴できますので、市役所3階の議会事務局までお越しください。

次回9月定例会は9月3日から20日までの会期で開催予定です。

(日程の詳細は議会運営委員会で決定されます。事務局にお問い合わせいただくか、ホームページ等でご確認ください。)

皆様のご意見をお待ちしています！

広報特別委員会では、市民の皆様のご意見・ご感想をいただき、今後の市議会だよりづくりに役立てていきたいと考えています。

あて先

浅口市議会事務局

〒719-0295 浅口市鴨方町六条院中3050番地
TEL(0865)44-7010
Eメール gikai@city.asakuchi.lg.jp

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

表紙写真

平成24年度あさくちいいとこ写真コンテスト入選作品で、林二郎さんの「鳴滝 不動の滝」を表紙にさせていただきます。

寄島町の安倉峠の県道沿いにある「不動の滝」は、浅口市唯一の滝で竜王山系の浸食谷の溪流にかかる直下30mの飛瀑です。普段は水量が少ないですが、梅雨時や台風の時期など雨量が多くなると、涼しげな姿を見ることが出来ます。春は桜、夏は緑陰、秋には紅葉と、四季折々の風情が楽しめる景勝地で、そばに祀られた鳴滝不動には、古くから多くの信奉者がいます。

広報特別委員会

委員長 平田襄二
副委員長 伊澤 誠
委員 佐藤正人 桑野和夫
原 彰 中西美治
柚木 毅 道廣裕子



議会だよりは再生紙を使用しています